

羽島市立堀津小学校

(所在地:岐阜県 / 児童数:137名)

学校長 安藤 理加 様

学校運営協議会委員 鈴木 登司雄 様



堀津小学校について

■目指す学校像

夢や目標をもちたくましく実現する力を育む学校

■学校の教育目標

「心豊かに伝え合い たくましくやりぬく子」

■「地域とともにある学校づくり」の推進

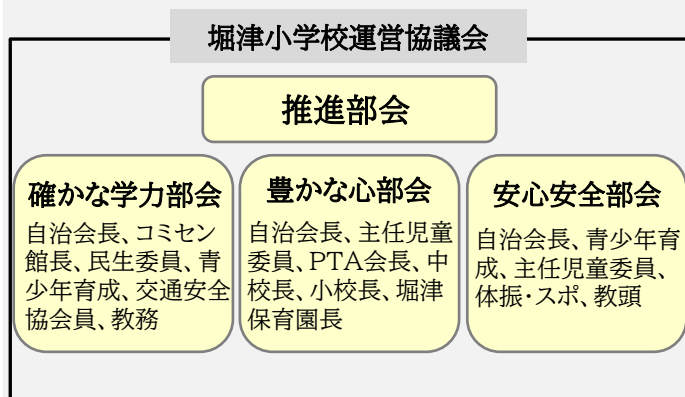
平成29年4月1日より羽島市すべての学校で学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)がスタートしました。学校と保護者、地域の皆さんで一体となり「地域とともにある学校づくり」を進めています。

本校ではキャリア教育やふるさと教育などを通して、児童が様々な人と関わりながら、地域のよさに気付き、将来の希望や夢をもつことができるように学校経営を行っています。

堀津小学校の学校運営協議会

■学校運営協議会テーマ

「地域を愛し、夢や目標をもって仲間とともにたくましく生きる児童の育成」



推進部会は3つの部会に分かれ、コミュニティ・スクールとしての活動をリードする役割を持ちます。

学校運営協議会の仕組みを活用した「地域とともにある学校づくり」の推進

■地域の方との連携・協働により、米作り体験や堀津音頭の振り付け指導など、地域教材を活かした体験活動を通して、児童の興味関心を引き出して、**ふるさとに愛着をもってくれることを願っています。**

■老人会や堀津音頭愛好会の皆さんが行うさまざまな**地域学校協働活動が、子どもたちの学びや育ち、地域文化の継承につながっています。**

学校運営協議会に支えられた「漢検」

「**確かな学力部会**」の活動として、地域ボランティアの皆さまが「漢検」の運営に参画しています。

運営に関しては、検定日当日に**学校運営協議会委員や地域ボランティアの方々が試験監督や児童の誘導などを行っています。**

「漢検」の受検は、児童にとってほどよい緊張感をもちながら挑戦する機会であり、自分の力を試すよいきっかけとなっています。

近年は、**近隣小中学校や家族受検の希望者も受け入れており、地域の方々の学びを支えています。**

(安藤校長)

子どもたちとともに地域も元気に

「子どもたちのために、「漢検」を実施した方がよい」という意見が多かったです。最初は先生でもないのにそんなことができるのか、という思いもありましたが、「準会場の手引き」に沿って円滑な運営ができています。**我々シニア世代は孫世代と関わるだけで元氣が出ます。**みなさん、子どもたちのために一生懸命取り組んでいます。」

「漢字は文化。漢字は一つひとつに意味があります。子どもたちは覚えるのが面白いと言っています。言葉をたくさん知っていると、多様な表現ができるようになります。「漢検」の機会を通して、**自分で学ぶことができる力を身につけてほしいです。**」

(鈴木様)



まきの木

羽島市市立堀津小学校
令和6年6月25日
7月号



学校の教育目標『心豊かに伝え合い たくましくやりぬく子』

地域の方のご協力に感謝！

今年度は、地域の方のご協力により5年生が米作り体験をさせていただくことになりました。6月20日に田植え体験を行いました。素足で水田に入ることがない子がほとんどです。最初は戸惑いながらも徐々にこつをつかんでいきました。足が抜けなくなって仲間に引っ張り上げてもらう子や尻餅をつく子など、どろんこになりながらがんばって田植えを行いました。「田植えがやみつきになった!」という子もいました。

周りに水田がたくさん広がっていても、米がどのように生長していくのかは、自分たちで体験してみないと興味や関心も湧きません。今は、機械化が進み、手で植えることも少なくなってきました。社会科の学習と関わらせながら日本の農業について、もっと身近に感じてくれるとうれしいです。たくさんの地域の皆様のご協力にも感謝します。



プール学習が始まりました！

12日にプール開きを行い、待ちに待った水泳の学習が始まりました。中には、水に対して苦手意識をもっている子もいますが、徐々に慣れていけるようにしていきます。

低学年プールでは、じゃんけん列車をしたり、キューブ拾いをしたりして水に慣れ親しみました。手に抱えられないくらいキューブをたくさん拾って満足げな顔の子やねらっていたキューブが拾えてうれしそうしている子など、思い思いに楽しんでいました。

高学年プールでは、伏し浮きをしたりパタ足をしたりして、泳法を思い出しながら徐々に水に慣れていきました。最後には、25メートルを泳ぎ、これからの水泳のめあてをもちました。



漢字能力検定のお知らせ

毎年、学校運営協議会のご協力により開催している漢字能力検定ですが、今年度は、**2月に行う予定**です。理由は、10月では、学年の学習内容が半分しか終わっておらず、下の学年を受検するか、先取りで学習を終えて受検するかになるためです。

2月に行うことで、その学年の漢字の習熟度を計ることや学年のまとめができます。

また、合格点(7割)をクリアすると合格証もいただけるので、子供たちの自信につながります。休みの日に、いつもとは違った仲間や空間で受検することは、英検や高校受験の予行練習にもなります。ちょっぴり、緊張しながら自分の力を試すことのできるよいチャンスです。

たくさんの子供たちの挑戦を心待ちにしています。夏休みに学習したい子は、練習問題集をお配りします。担任にお申し出ください。

本の寄贈について

公益財団法人日本教育校務員弘済会岐阜支部より、50冊ほどの本の寄贈がありました。購入させていただいた本が6月の中旬に届きましたので、早速、カバーを掛け図書館に入れました。新しい本の紹介があると、図書館は大賑わいです。新しい本に子供たちの目が輝きました。人気がある本は、予約をして順番を決めて貸し出しています。

手に取った本が、子供たちの心の栄養となれることを願っています。

たくさんの寄贈をありがとうございました。

大切に、使わせていただきます。



(学校だより「まきの木」令和6年度7月号より)